

2009年度 聖母女学院中学校・高等学校 学校評価のまとめ

今年度は授業を中心にアンケートを実施し分析・検討しました。全般的にいえることは、すべての学習の基になる国語力やコミュニケーション能力が弱いことです。読書量や新聞ニュース欄を読む量をもっと増やさなければなりません。そのために読書を促す工夫や、新聞やインターネットを取り入れた授業の工夫が求められます。

生徒は、授業に対して中学及び高校の文理コースでは「基礎を大切にしたいわかりやすい授業」をまずは求めていることがうかがえます。授業としては当然のことであり、このことは教員のアンケートでも同じ結果が出ています。つまり、教員が「基礎を大切にしたいわかりやすい授業」を意識した授業の展開に努めていることがうかがえます。

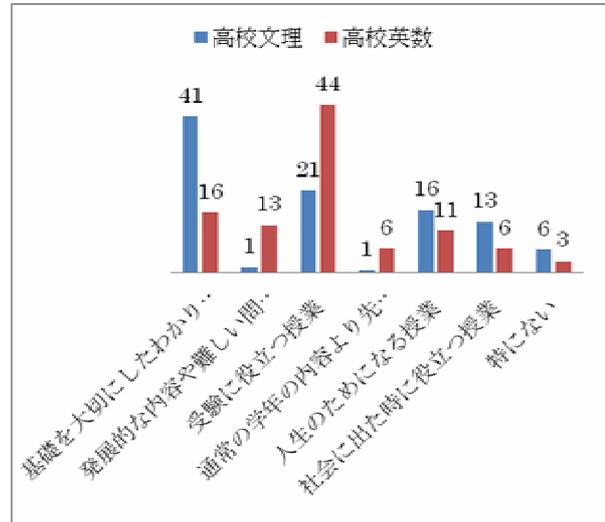
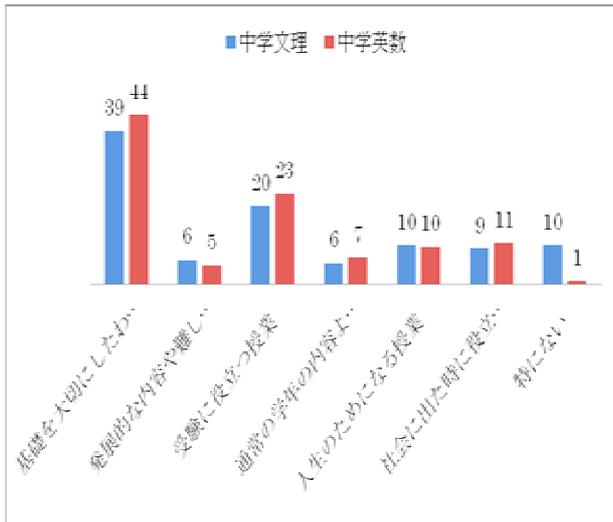
次に生徒は「受験に役立つ授業」を求めています。高校では文理コース21%に対し、英数コースで44%もの生徒が受験をかなり意識しています。こういったニーズに応えていくには、基礎を学習するための授業時間を増やすと同時に、受験に役立つ授業を増やすことが求められます。2010年度は、土曜日や普段の聖母ゼミを増やすことで対応するだけでなく、生徒の幅広いニーズに対応するために、さらに学校週6日制・3学期制などの導入検討とこれに見合った新たなカリキュラムの検討が急務であると考えます。カリキュラムの見直しは、教員のアンケート回答でも、授業の質の向上の次に上がっている重要項目です。

学力向上についてのアンケートでは、生徒、保護者、教員とも共通に、「授業に熱心にとりくむ／小テストやまとめテストの勉強をする／復習を現在より増やす／計画を立てて勉強する」があがっています。さらに生徒に考え方を教え、勉強したいという意欲を持たせることによる学力レベルの向上が重要です。さらに教員も生徒も「ノートをきちんと書く」ことの重要性にもっと注意を喚起する必要があります。こういった面を考慮し、生徒に自学・自習の習慣をつけさせて学力レベルの向上を図っていくことが、今後の大きな課題です。

聖母の魅力に関しては、今後、魅力を高めてほしい項目として目を引くものに、生徒があげている「制服」、そして、保護者・教員があげている「希望の進路が実現できる」があります。「制服」の検討及び「希望の進路の実現」のための方策の検討は急務であり、的確かつ慎重に取り組むことが求められています。

以上の課題を真摯に受け止め、学校としてより充実した取り組みを推進してまいります。

授業全般に対する生徒の希望

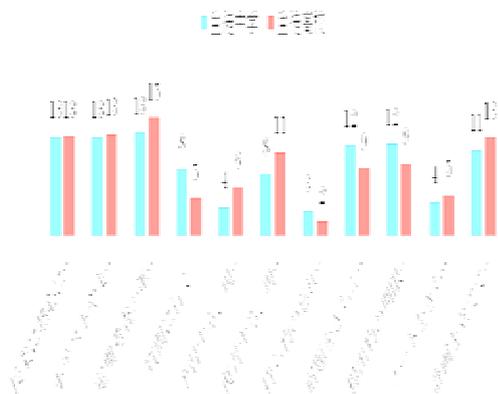


	基礎を大切にしたわかりやすい授業	発展的な内容や難しい問題にチャレンジする授業	受験に役立つ授業	通常の学年の内容より先取りをする授業	人生のためになる授業	社会に出た時に役立つ授業	特にない
中学	文理 44% 英数 39%		文理 20% 英数 23%				
高校	文理 41%		文理 21% 英数 44%				

学力向上についての生徒・保護者・教員の思い

生徒

学習の実力をつけるために必要なものは？



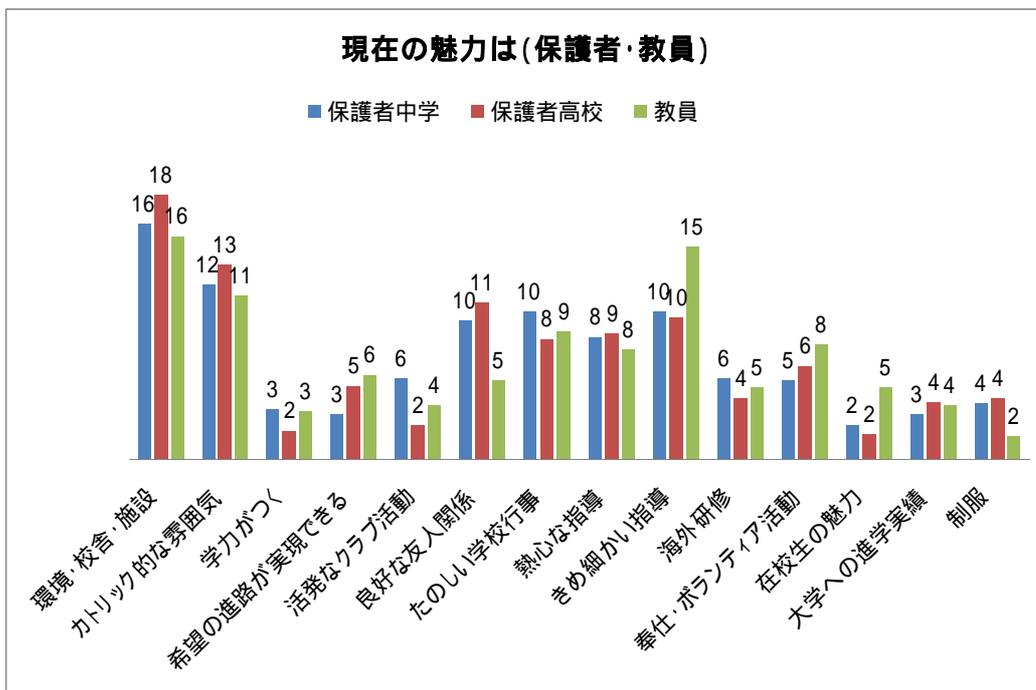
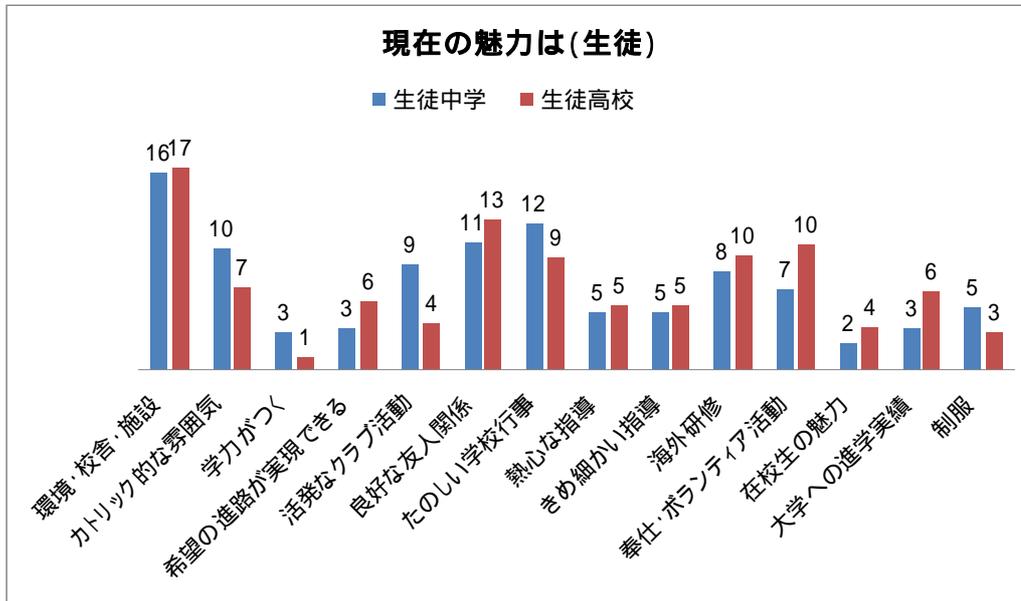
	授業に熱心に取り組む	小テストやまとめテストの勉強をする	定期考査の準備をする	質問に行く	予習する、現在より増やす	復習する、現在より増やす	持ち物の忘れ物を、現在より減らす	宿題をきちんとする	提出物の期限を守る	ノートをきちんと書く	計画を立てて勉強する
生徒											
保護者											
教員											

10%以上

8 ~ 10% 程度

聖母女学院中学高等学校の魅力に関して

1. 現在の聖母女学院中学校・高等学校の魅力



2. 聖母女学院中学校・高等学校が今後育てるべき魅力は

